

報恩講の花立てを終えたお花衆 (11月18日、順慶寺本堂にて 岡川経康氏撮影)

順慶寺では、古来より、大法要の本堂に上げる仏華をお花衆となった門徒の方が立ててこ られた。先人が作られた幹を大切に利用して、仏華を立てていく作業はいわば口伝の世界。 この度、新しく二人のお花衆を迎え、総勢四人で一日がかりで仏華を荘厳した。



人に教えるとおりに

自分自身もせよ

 $\Diamond$ 

自らを制御すること

### ◇ 新たなお花衆 ◇◆

今回は、釈尊の弟子であった長老が、

自ら

からの引用です。

自己を制するのは実に難しい」(一五九偈)

めくくられました。

リーグで活躍する大谷選手が、国民栄誉賞を

先の中日新聞の『中日春秋』に、メジャー

かに、あかるく、

ほのぼのと、ときめいて、 自己を制御し、「さわや

んきょに」('さあほとけ」) と生きること

と言えるでしょう。

見栄がはたらき、心を乱していることが多い

逆に、私たちは、日ごろからそれだけ欲や

そ他のものを制することができるのだ」とし このとき釈尊は、「よく制御されたものこ ときの釈尊のお言葉です。

談しようと長老を訪ねたところ、長老自ら寝

入っているところを見つけ、釈尊に相談した

字。今でも、お参りに上がると、多くのご家 あせるな、くさるな、まけるな」という頭文

庭にこの言葉が掲げてあるのを眼にします。

心が乱れ集中できなくなったので、

困って相

た。「おいあくま」とは、「おこるな、いばるな、

度々注意をするので、弟子たちが皆疲弊して、 の弟子に、寝ずに修行をすることを強要し、

他人を制することができる。 今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』(法句

「他人に教えるとおりに

自分で行なえ

自分をよく制してこそ



戒めとして使っていた言葉を引用していまし 住友銀行の頭取だった『堀田庄三氏が自身が 辞退したことに触れ、「おいあくま」という、 今月のブッダの言葉

若院のテーマカット NO.32

が難しいことを感じます。

### $\Diamond$ 智慧の光に見出されること ◇

背景や条件がそうさせるのである= 善を促す無数の背景や条件から起 親鸞仏教センター意訳を参照) に浮かぶのも、思いを超えた無数の こってくるものであり、悪い行いが心 らるるも、悪業のはからうゆえなり」 るのか、と悩むことがあります。 重なると、どうして自分だけそうな よおすゆえなり。悪事のおもわれせ 行かない人があります。悪いことが 「よきこころのおこるも、宿善のも (善い行いをしようという思いも、 親鸞聖人は、『②歎異抄』(第十三章)に、 世の中にはうまく行く人、うまく

件があって、その上に起こってくる ことであって、突然起こってくるこ あらゆることは、無数の背景や条

①【堀田庄三】 明治32年~平成2年 銀行にはいり、昭和27年頭取、 名古屋市生まれ。京都帝大卒。住友 18日死去。91歳。旧姓は牛田。 会長、日本航空会長。平成2年12月 住友家評議員会委員長、住友老壮会 グループの拡大、発展につとめた。 の強化、合理化などをすすめ、住友 あいだトップの座にあって経営体質 会長、52年名誉会長となる。ながい (コト 46 年

バンクより

私たちです。 くればどうなるのか分からないのが 眼を障えられると、さるべき業縁が 貪欲、瞋恚、愚痴といった三毒であり これらの三毒を制御できず、煩悩に とではない。それを見失わせるのは、

たし」と成ってきたのだと知り、その にしてくれたり自身の深い因縁を教 事件が起きました。おそらく、冷静 知の十四山中学校の校内で三年生の 無数の縁によって、「わたし」が「わ 局的な結果にならなかったでしょう。 えてくれる人がその場にいたら、破 事実に感動すること。」(武田定光氏) 元同級生を殺害するという痛ましい 「宿業感とは、無限の過去から無量しゅくごうかん 宿業の私自身を見出してくれる、 この原稿を書いている間にも、 愛

如何に大事かを思い知らされます。 仏の智慧のひかりをいただくことが

は、

皆

いたのでしょう。

をそのまま収録し、後半の部分に異 ち、前半の十条には親鸞聖人の法語 唯円と伝えられる。全編十九条のう の間に種々の異説がおこったのに対し 親鸞聖人が亡くなられた後、門信徒 貴重な書。(旺文社日本史事典参照) 義を列挙し編者の批判が記されてい して編集されたもの。編者は弟子の 正統な教義を示すことを目的と 親鸞聖人の思想・信仰を伝える

> 念仏を歓ぶ人 妙好人の 世界

[第111回]

に沢山の同行が遠方から集まって、 た一つのエピソードがあります。 同行から一目おかれていました。 同行でしたが、その求道心は強く、 あるとき、近隣の方が集まる寄所 その聞きの強さのゆえに、残され 堺の妙好人・吉兵衛、聞きの強い 《後生の一大事を心に入れる》

「どうじゃ、皆うまいかな?」 と問いかけました。集まった同行

大きな声で、

ご飯を食べている最中に、吉兵衛が

《味おうてくれ》 ものだね きち へ え **物種 吉兵衛** (19)

ませんでした。 はよいかな?」 吉兵衛は そのとき、吉兵衛は

知って、正直に答えることを待って 心に入れている人はなかなかないと いのか!」 く人が集まっても、後生の一大事を この飯喰いにくるかい、という者な 「ええぃ、そんなことの知った者が おそらく、吉兵衛は、どんなに多 と言ったそうです。

つい愚痴がでてしまいます。

時間に追われている時など、

## 読の

### 《第二十回 念仏のご利益》

がある、と教えていただきま ます」と言える人間になる力 した。 んなさい」「よろしくお願いし 念仏は「ありがとう」「ごめ

念仏のご利益のお話がありま 先日、当山報恩講の法話で でいますが、いざ自分が言え しっかりと向き合っていますか 気づきます。 なかなかできていないことに と問われたような法話でした。 一見当たり前の言葉が並ん 、いるかと振り返ってみると 手を合わせて念仏する度に

「隠居様(吉兵衛のこと)、うまい

と口を揃えて答えました。すると、

おきとともに

落 ち

「おお、うまいはわかったが、

誰一人ひと言も返答するものがあり 箸を下におろして黙り込んでしまい、 と続けました。それを聞いて、 後生 皆

はらりはらりと舞い散る姿は美

しく、落ち葉となっても温もり

赤や黄色に色づいた落ち葉が、

した。境内にもお役目を終えて、

木枯らしの吹く季節になりま

を伝えます。

とはいえ、

強い季節風

が

吹

に

掃いても掃いてもきりがな

く度に次々と落ちてくる落ち葉

桜は、 と舞い散ります。 ぱで、うらめしいほど次から次 特に境内の入り口にある八重 赤に染まった大きな葉っ

それぞれ植えたいわれがありま もの。思えば、境内の木々には、 れるからと、わざわざ植えた 月の蓮師会の頃に丁度満開とな この八重桜、亡き老院が、 御参詣の皆様を出迎えてく 四

うと、落ち葉掃きは続きます。 つでも感謝の気持ちを優先しよ 暮 れゆく秋を惜しみつつ、一

# 日程を二日間に短縮し法話を実施

のお荘厳をして一年最大の行事である報恩講を厳修しました。 コロナ禍に翻弄された令和3年。 さる十一月二十日・二十一日の両日、多くの皆さんのお手伝いのもと最高

とができました。 同じかたちで報恩講をお迎えするこ 堂のお荘厳など、連日多くの御門徒 半日のみの法要となりました。 講も、三日間の日程を二日間にして、 順慶寺の三大法要の一つである報恩 がき、本堂等の大掃除、花立て、本 方が集まられ、コロナ前の通常と それでも、準備には、 仏具のおみ

## 秋晴れの両日に多くの参詣

法要を開始するころには、本堂に準備 早い、九時半から法要を始めましたが、 したイス席はほぼ満席となり、一部の たいということで、いつもより三十分 は暖かい陽気の秋晴れに恵まれました。 といつも雨がつきものでしたが、昼間 できるだけ多くの法話時間を頂き 法要の当日、順慶寺の大法要という

場をかりてお礼申し上げます。 げていただきました。役員一同、 なお、当日までに多くのお供えを上

ていただきました。 方は、庫裏や玄関のリモート席に移っ

用の大肩衣を着衣し、マスクをして少 お勤めを上げることが出来ました。 し抑え気味ではありましたが、立派に 講の皆さんも連日多数参加され、専 法話は、同朋大学専任講師・市野 二日間の稽古をしてきた男女助

落合組 鈴置智様の父

名古屋市 志水くみ子様の夫 ||月5日寂 志水敬

月2日寂 鈴置

勤 92

明証院釋精勤

釋致敬

||月度護寺会物故者

してくださいました。 る方にも分かりやすく、かつ深い話を 主任教授でもあり、本堂で聴聞され 谷顕先生。市野先生は、現在若院の 智行先生と元名古屋音大教授・宇治

泉田町 近藤悟様の兄

11月4日寂 近藤孝弘(77

10月15日寂 金田和之

<u>59</u>

東境町 金田健督様の父

精修院釋寬和

釋孝暉

市場下組 岡本七紀様の母

北尾組 千種裕美様の母

||月9日寂 千種俊美|

<del>78</del>

成満院釋尼見俊

11

月2日寂 岡本喜久子(85)

華照院釋尼喜香



も来年度は同行の組織を継続し、 討がなされた。その結果、少なくと

相

続講を集めることになった。

開始前の刻太鼓



アルコール消毒





本堂のすす払い

廃止されたことを踏まえ、順慶寺で 配布を決定。新聞のお礼である同朋 は、来年ー月より本堂での同朋新聞 行検討会で、同朋新聞の毎月配布が 会員志は順慶寺護寺会で負担する。 ◆同朋新聞を順慶寺で配布―泉田同

せて申込できる。 も希望する人に郵送することとした。 月に順慶寺だよりの新規郵送申込を 希望者は5月の護寺会費納入に合わ 募集することに合わせて、同朋新聞 ◆希望者に同朋新聞郵送―来年5

### 編集雑

りなられたとの一報を受け、動揺し ています。幡谷先生には、何度も順 田市の恩師・幡谷明先生がお亡くな 届けて下さることを確信しておりま お帰りになられ、お念仏の声を再び までお心をかけて頂きました。先生 慶寺で講義して頂き、晩年にいたる 後の寺報を製作している最中に、浜 自坊の報恩講も終わり、今年最 お念仏の響き合う諸仏世界に

この

◆泉田同行検討会開催―さる11月15

順慶寺にて泉田同行の役員が集

今後泉田同行をどうするか検

編集部短

### 日ぐらいは、と家でぬくぬくとして にも億劫になってしまいます。だら しまう日々が続いています。(若) う自分にあきれてしまいますが、 けているのを寒さのせいにしてしま この頃急激に寒くなり、何をする

### 主な行事予 12

40			
日	曜	行事内容	掃除当番
1	水		
2	木		木-1
3	金		
4	±		
5	日	来迎寺組お取越	
6	月	落合組お取越	
7	火		
8	水	- コロナ対策により、諸活動は自粛中 -	
9	木	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	木-2
10	金	令和4年度より自粛解除し正常化	
11	±	する予定	
12	H		木 - 2
13	月		
14	火	近崎組お取越	
15	水	北尾組お取越	

木		木-3
金		
土		
日		
月	一里山組お取越	
火		
水	平松組お取越	
木		木 -4
金		
土		
Ш		
月	N.	
火	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	
水	年末大掃除(8:30、順慶寺)	
木		
金	年越し勤行・修正会(23:45~、順慶寺)	
	金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 十 日 月 火 水 木 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	金   土   月 一里山組お取越   火 水 平松組お取越   木 金   土 日   月 火 宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)   水 年末大掃除(8:30、順慶寺)   木

### 好評につき

て、もれなく、粗品を差した方に、寺からのお年玉とし 本堂で正信偈のお勤めをされ 年越し勤行の右記の時間に、 上げます。お楽しみに。

スによって気温が上昇し、産業革命 革命以降最も大きく減少したこと。 果ガスの排出量が、前年比で産業 その中で、一つ注目したいのが、コロ 東京オリンピックも無観客となり 経済・文化など様々に影響がでて た経済ですが、このまま温室効果ガ 化石燃料を燃やすことで成長してき ナ禍によって、二酸化炭素等温室効 今年もコロナ禍により、政治 順慶寺本堂・玄関にて おし

ることもあり) することにし

ています。

コロナで今年一年が暮れました。

6 **H** 

じゅんこのときめき歳時記 ゆ ਰੱ

がやってきた感じです。風邪など引 このごろ一気に寒くなって、冬本番 いていませんか。 そういえば、みなさんのお宅では みなさん、師走になりましたね。

恐竜が警告する演出もされ、世界

生態系に甚大な被害が出て、海面 や干ばつ大雨被害により、農作物や 年に一度の豪雨がら倍となり、熱波 と、五十年に一度の熱波が&6倍、十 前と比べ平均気温が15度上昇する

上昇も酷くなると警告。 COP26では

中で立ち上がった若者がいました。

た環境を残すことに寄与した自身の 心ならずも、コロナを通して、こうし

ました。みんながネットに入ったゆ ネットに入れて、ゆず湯に入ってい す。とくに果汁より果皮に沢山含ま Cがトップクラスに多いのだそうで ベトベトになった覚えがあります。 ずを揉み出すので、最後に入ったら は、毎年冬至の日に、沢山のゆずを 冬至にゆず湯に入りますか。実家で れていて、ビタミンCは、肌の保水 ゆずは、柑橘類の中でもビタミン

省し、御本尊の前でお勤めをして

大晦日、除夜の鐘を打って一年の反 責任を痛感する一年となりました。

心新たに新年を迎えましょう。

性を高め、抗酸化作用もあって、 なるそうです。 の調子を整えるのと、風邪の予防に

呂合わせもあったらしいです。 融通がきく」ことと「湯治」の語 因みに冬至にゆず湯に入るのは、

## 家の内

前田普羅

年越し勤行について

響が出た場合でも、真宗講座、 実に通常開催(人数制限をす 宗祖聖人御命日の二つは、確 予定です。コロナの第六波が じめ各例会を通常開催とする 心配されますが、コロナの影 年)4月より護寺会事業をは た例会ですが、来年(令和4 二年間コロナ禍で自粛してい ||来年4月より例会等通常開催

する予定です。また、おしる をしない予定です。昨年自粛 今年の年越し勤行は、 この接待は、感染予防のため、 した御本尊前の焼香は実施 イス席を準備し、入場者制限 玄関(本堂の映像を配信)に 本堂と

12月3日(金) 23時45分

~1月1日(土)1時終了

年越し勤行(修正会)

12月行事内容

詳細

また、お屠蘇の接待は、感染 缶ジュースで代替をします。 します。ご了承ください。 予防のため、今回も自粛いた

冬至湯の 煙あがるや